

献呈の辞

南博方先生は、平成十二年三月三十一日、定年を迎えられ、成城大学を退職されました。先生は、一橋大学法学部の教授時代より、成城大学法学部及び大学院法学研究科の非常勤講師として出講いただくなか、平成五年四月より法学部教授として赴任されました。先生は、専門とされる行政法のみならず、租税法や環境法にも造詣が深く、斯会を代表する研究者の一人として知られるとともに、日本学術会議会員をはじめ、司法試験審査委員、国家公務員第一種採用試験委員更には外務公務員第一種試験委員等多くの公職にも就かれるなど、実務家の養成にも貢献されました。

こうした幅広い専門知識と経験を踏まえて私ども法学部・大学院の教育・研究に尽力されました。また、学内行政の面でも、平成六年六月には成城大学学長そして成城大学短期大学部学長の要職に就かれ、大学全体の運営に多大な貢献と功績を残されました。

ご在任の間、先生は、教員をはじめ学生や職員の皆さんに対しても、いつも微笑みを絶やさずに、気さくにお話されたりして、その穏やかなお人柄は大学・学園の誰からも広く敬愛されました。

ここにささやかながら感謝の証として、成城法学部第六三号を先生の退職記念号とさせていただきます。どうか、先生には、いつまでもご健勝にてお過ごしいただきたいと存じます。

平成十二年十月

成城大学法学部長

奥山明良

